

米軍人とのトラブル 解決支援

女性に寄り添い、20年

米軍人・軍属と日本人女性との間の交際や結婚・離婚に伴う子の認知、養育費回収などの相談を受ける国際家事相談支援ウーマンズプライド（スミス美咲代表）の活動が、20周年を迎えた。代表のスミスさんも米軍人との結婚・離婚に伴うトラブルを経験したことから活動を開始し、これまで2千件以上の相談に応じた。中には想定外の妊娠で中絶を考えた女性もあり、出産を後押ししたこともあった。

ウーマンズプライド

「産むかどうか迷ってできない。「もう一人がいる」。2021年、県産むのは難しいかも…」内在住のひとり親だったと思い悩んでいた。30代女性から連絡があった。その時、インターネット。女性はマッチングアプリで見つけたウーマンズプライドで知り合った在沖米軍人の男性の子を妊娠。産むの思いで相談。スミスさん、当時4カ月目だった。既に前夫との子どももいる中で、男性と交際していないし、英会話もできない、親にも相談



スミス美咲さんの助言も受けて産んだ子と手を結ぶ母親
14日、本島中部

相談2000件超、養育費回収も

知らぬ間にハワイに異動していた父親を探し当て、弁護士に依頼して子の認知を進めた。並行して親子関係の証明のため父親にDNA鑑定を求め、親子関係を確定させた。米国の「養育費回収システム」を申請し、18歳まで月額600ドル（約9万6千円）程度の養育費を受け取ることが決まった。

父親は子どもの誕生を喜んでおり、沖縄に来た際は面会したことも。女性は「あのとき相談してよかった。おかげで養育費がもらえ、生活できている」と感謝する。

スミスさんはこの20年間で専門性を高めるため沖縄国際大で国際私法・国際家事の修士号を取得。県から依頼を受け「県国際家事福祉相談所」（北谷町）のアドバイザーを務めるなど、米軍関係者の国際家事事件を専門とする唯一無二の存在となった。

「自分も苦労を経験したから、相談者の心細い気持ちは分かる。これからは年齢問わず、相談者に寄り添っていく」と語った。（梅田正寛）